

7

清見潟大学

清見潟ニュース

清見潟大学塾事務局

〒424-0817 静岡市清水区銀座 9-11

TEL: 054-367-3588 / FAX: 054-367-3599

URL: <http://www.kiyomigata.sakura.ne.jp>

Mail: kiyomigata@mail.wbs.ne.jp



HAIR SITE Mo o - b z 中尾忠基智様と石渡副塾長

後援会企業訪問

六月十五日、十六日、十七日の三日間、牧田塾長、原田、石渡両副塾長と事務局長の三役で、後援会企業を訪問させて頂きました。

今回もマスクを着用し、コロナ感染予防対策取りながらの訪問となつてしまいましたが、全ての企業で温かい対応をいただきました。
これまでのご支援のお礼と共に、これからのご協力をお願いしてきました。

清見潟大学塾後援会

企業・団体ご芳名

- ・伊藤商事 (株)
- ・ENEOS (株)
- ・共栄火災海上保険 (株)
- ・(株) 久保田石材
- ・クミアイ化学工業 (株)
- ・(株) クローバートラベル
- ・剣道 鉄誠会
- ・(株) 薩川組
- ・(株) 静岡銀行清水支店
- ・清水エル・エヌ・ジー (株)
- ・(株) 清水銀行
- ・清水総合保険 (株)
- ・昭和不動産 (株)
- ・書道 千草書院
- ・鈴与 (株)
- ・鈴与建設 (株)
- ・鈴与商事 (株)
- ・鈴与自動車運送 (株)
- ・清和海運 (株)
- ・中部電力パワーグリッド (株)
- 清水営業所
- ・東洋冷蔵 (株)
- ・(株) ニシガイ
- ・はごろもフーズ (株)
- ・日和館 庵原屋
- ・フクイ文具店

第二回理事会開催

- ・ホテルクエスト清水
 - ・三井・ケマーズ
 - フロロプロダクツ (株)
 - ・HAIR SITE
 - Mo o - b z
 - ・(株) ユーマート
 - ・ルードウィツヒ音楽院
 - (五十音順 敬称略)
- 清見潟大学塾は、前記企業等の社会貢献のご厚志に基づく後援会費を、いただいています。

六月十二日辻生涯学習交流館で、第二回理事会が開催されました。
今回の理事会では、新年祝賀会、修了作品展及びステージ発表会、清見潟大学塾四十周年記念イベント等の話し合いがされました。
その結果、新年祝賀会は令和五年一月二十八日(土) ホテルクエストで、修了作品展は令和五年一月二十日(金) から二十二日(日) まで、ステージ発表会は一月二十二日(日) ともに清水文化会館マリナートで行うことになりました。
清見潟大学塾四十周年記念イベントは、実行委員会を立ち上げることになりました。

普段使いの漆塗りⅠ・Ⅱ
 塾生 小長井ひさ子

開講二年目となるこの講座では、共通の課題として先生が下塗りした木地に、赤や黄色など数種類ある漆と鮑貝の粉末を蒔いた「螺鈿」の箸を二善作ります。その後は自分がやってみてみたかった、お椀や欠けた陶器を直す『金継ぎ』、めんば製作にチャレンジしています。



漆器や陶器が好きな私は、デパートや産地で素敵なものを買って求め、日常の生活でそれらを使い楽しんでいます。しかし、どんなに大切に使用していたも、時間の経過とともに塗りがはげたり欠けたりしてしまします。使い続ける事ができたらどんなに良いだろうと思っていました。

そんな時に、清見湯の講座で漆塗りができることを知り、応募しました。自然素材の漆は、湿度や温度の具合で出来栄が異なります。塗り厚や力加減を誤ると「縮み」や「垂れ」「研ぎ破り」等が生じるため制作は真剣勝負です。「先生、このくらい

でどうでしょう？」とか「あなたの使った色、素敵ねえ」と仲間と制作過程を振り返ったり。子育て中のメンバーには「子育ての極意」を、伝授するなど、製作以外のやり取りも楽しんでいます。

自分で考えて、作るのって本当に楽しい。「上手にできたらなおうれしいけれど、ちょっとした失敗ならそれも私の個性よ！」なんて軽い気持ちで楽しんでいきます♪

有度交流館 第四土曜日
 Ⅰ 九時半から
 Ⅱ 十三時半から
 講師 西尾 稔



私にも書ける美文字
 塾生 長岡 文代

サラサラと筆で字を書くことができたらいのになと思っていた矢先、地元の交流館で西島先生による「私にも書ける美文字」が開講され、七十の手習いよろしく早速入塾して早、五年。

筆の持ち方、運び方、書道の基礎の基礎から丁寧に教えて頂いています。



皆、静かに集中して筆を動かします。時には楽しくおしゃべりしたり、仲間の字を見に行ったりして気分転換します。そして「〇〇さん、筆を立てて書くともっと良くなるよ。」「いいね、素晴らしい。でもここは基本を思い出して。」と、的確な助言と褒め上手の先生のご指導で自分が上手になったような気になります。こんな具合で、二時間の講座は、あっという間に終わってしまいます。

この講座に参加して先生がくださるお手本の、漢文、和歌、俳句、手紙文等々を書くだけでなく、その言葉の持つ意味、万葉かな、作者の心情や情



景にも関心を向けるようになりまし
た。
これからもゆつくり「美文字」を目
指していこうと思います。

両河内交流館
第一・三木曜日 九時半から
講師 西島 春華



『奈良・興福寺の阿修羅像』講師の荒浪経子先生にお会いすると、いつもこの少年像が浮かんできます。スッキリとした肢体、一見硬い感じの仏像に繋がりがそうなお名前。私はこの仏像イメージを勝手に結び付け、ヨガのレッスンを楽しんでいきます。

やさしく穏やかな声で「無理しないでくださいね。」「他の人と比べない。今の自分の身体、今ここにいる自分を感じてみましょう。」と、呼吸と共に体の細部まで伸ばせる指導をさせていただきます。

くつろぎヨガ
塾生 望月けい子

四年前、運動音痴な私が、運動不足だ、何かやらなくちゃ!と、選んだのは四十年以上も前に習ったことのあるヨガでした。当時はポーズができることが主流だった気がしますが、なんと様変わりしたことが。呼吸まで少し変化していて、鼻からはいて、鼻から吸うのです。私の習ったヨガは口から吐いていました。(流派によるのかもしれませんが)先生は呼吸をととても丁寧に教えて下さいます。どちらにしても呼吸法は、慣れると気持ち良く心が落ち着き穏やかになれます。それら、気短な私は随分この呼吸法に助けられています。





【自分の体は自分でしか生きられない。誰もこの体で私を生きてくれる人はいない。ならば、楽しみながら、自分で心と体、そして脳を守っていい。死ぬまで元気に】

そんな気持ちで、五十代から七十代までの十三名と一緒に、自分一人では思い至らないような体の細部に少しでもだけ負荷をかけています。面白いですよ。前回できないのに今日はできたり、そのぎやくだったり。脳と心と体と自然現象、連携しているんですね。レッスンの後のさわやかなこと！至福の時間です！

庵原交流館
第二・四金曜日 十時から
講師 荒浪 経子

展示会のお知らせ

※書とあそぼう

期間 八月一日(月)から

八月三十日(火)

会場 江尻生涯学習交流館

講師 柳本 花香

募金ありがとうございます

・筆の楽しみ

・書道「蓬会」

・入門「実用書道」

講師 太田 静苑

・健康リズム体操Ⅰ・Ⅱ

講師 鈴木 節子

・簡単ツールペイント

講師 植田 靖子

事務局からのお知らせ

八月十五日(月)十六日(火)の二

日間、お盆休みになります。

土日と合わせて四連休となります

ので、ご注意ください。

イカサマ師の学術的研究論文

案外知られていない言葉に「イカ

サマ」がある。古語辞典によると「いかかわしいもの」「如何なもの」が語源だとあるが、いかげなものであるうか。こんなイカガワシイ言葉はない。

一説によると『日本書紀』の允恭(いんぎょう)天皇紀に、天皇が皇后の妹・衣通朗姫(そとはりのいらつめ)に懸想(けそう)し、中臣鳥賊津を使者として口説きに行かせた。

「姫は姉の嫉妬を恐れたが、鳥賊津は七日七夜何も食わず姫の庭先にひれ伏し、遂に承知させる。実は懐に干飯を忍ばせて、皆が寝静まったところにこっそり懐から取り出して食っていたという。まさに鳥賊様であり鳥賊様師である。が、これは私の作り話。本当は、江戸時代の「ここが〇だ」と云う処が鳥賊は口」という川柳が原点だ。これだけで「ははア、なるほど」と頷かれた方はかなりの不良老人である。「えっ、どういうこと」と首を傾げる方は、ご自分の身に比べてご検討いただきたい。

ここが口だということに鳥賊の口はなく、ここがあそこだということに鳥賊の口がある。これが鳥賊様である。あるべきところにあるべきものがない。生物の原点を無視した形状はまさにイカサマである。鳥賊のような

物、これがイカサマであり、わけの分からないものを食べる奴がイカモノ食いだ。何だかよく分からないうちにごまかされるのがイカサマ師だ。不良老人を志す者はまず江戸時代の古川柳から勉強を始めるべきだ。

「じれったいわなどとイザナミ下で云い」「こう遊ばしませとセキレイ腰を振り」など、なまじの学識では理解できない川柳が山のようにある。

私の道楽は、『古事記』『日本書紀』歌舞伎、古典落語、古川柳、手当たり次第の乱読の結末である。特に落語は七福亭宝船と名前をつけて入門を志したが、落語には向かない顔だ、と断られた。軍隊で「蝦蟇の油」を一席やったら、そのあと怪我をしても「蝦蟇の油をちよいとつければたちまち血が止まる」となかなか手当てしてもらえなかった。芸は身を滅ぼす。下手をすれば命とりだ。

『不良老人のすすめ』より抜粋

著者 故大石正路(第二代塾長)

